

「セレーノ四つ葉」の活動を見学しました。



「セレーノ四つ葉」とは

2018 年発足の市民活動団体。

障害のある子どもを育てる保護者達の困りごとや、やりたい事などを中心に、保護者の不安や孤立の軽減、地域社会との連携活動などを行っている。

「きもので成人のお祝いしよう!」とは

障害の特性などから、地域の成人式にでるのが難しい子どもたちや保護者のため、セレーノ四つ葉が企画した、成人のお祝いプロジェクト。

気兼ねなく参加でき、体にあうよう補正した「晴れ着」を着て、家族、周囲の人々が共に障害のある子どもの成長を喜び、お祝いできる。

突然ですが、皆さんは、ご自身、あるいはご家族が成人を迎えられた際、人生の節目をしっかりとお祝いされましたか？

私はといえば、残念ながら成人式に出席することもなく、同日、何をしていたのかさえ、はっきり覚えておりません……。せっかく二十歳になったのに、その感慨も覚悟もなければ、家族や周囲の人たちに、改めて感謝することもなかったような気がしています。ただ、年を重ねた今は、無事二十歳を迎えること自体がとても有難いこと、そして、それは家族や周囲の人たちの愛情のおかげであること、また、成人をお祝いしてもらえることがどんなに嬉しく素晴らしいことか、が、よく分かります。

2021 年よりセレーノ四つ葉が開催されている「きもので成人のお祝いしよう!」は、そういった人生の大切な一ページを、対象のご本人とご家族、仲間、支援する人々でお祝いする場。ぜひ見学させていただきたいと思い、宇部に足を運びました。

会場の宇部市ときわ湖水ホール大展示場に着くと、新成人になられた上記写真の 5 名*が華やかな晴れ着をまとい、ご両親、ごきょうだい、お友達など多くの人たちに囲まれています。皆さん、笑顔が輝き、晴れの日を迎えた嬉しい気持ちが伝わってくるようです。

*新成人 6 名のうち、当日の会場出席者は 5 名でした。



同展示場は常盤湖に面し、光あふれる、大変気持ちのよい会場で、入口付近には、障がいのある方々が作られた雑貨、地域の作家さんの手仕事の品などが並び、誰もが暮らしやすい共生社会を目指す、セレーノ四つ葉の様々な取り組みも展示されていました。



お祝いボード作成中の、宇部市、慶進高等学校の学生ボランティアさんたちです。学生さんにお手伝いをお願いするのは初の試み、とのことでしたが「お母さんがボランティアで新成人さんのヘアメイクをしているのを見ていて『自分も何かお手伝いしたい』と思っていました」という学生さんもおられ、皆さんテキパキと楽しそうに準備を進めておられました。



山口朝日放送も取材に来ておられました。
是非、以下 URL より、放映されたニュースも
ご覧ください。

[https://www.yab.co.jp/news-
list/202504194688](https://www.yab.co.jp/news-list/202504194688)



ご来賓の宇部市長によるご挨拶。

セレーノ四つ葉の地道な取り組みに、行政としても関心を寄せておられるご様子でした。



新成人の皆さんの成長を、子どもの頃から見守ってこられた先生方のスピーチ。

久々の再会になるのか、どの先生も「こんなに立派になって」と感無量のご様子でした。

新成人及びご家族と深い信頼関係を築いてこられたであろう先生方の、温かい愛情を感じるスピーチでした。



保護者代表のご挨拶

「生まれ変わっても
〇〇（お子さんのお名前）の
お母さんになりたい」という一文が、
深く心に残りました。

最後に改めて、この度、新成人になられた6名の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

皆さまの新たな門出に立ち会わせていただき、誠にありがとうございました！（竹岡）